

報告

熊本地震現地調査（4/24）報告

日本リハビリテーション工学協会  
赤澤 康史・岩崎 満男・吉田 泰三

1. はじめに

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会が  
大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会  
(JRAT) 加盟を検討しているさなか、恐れていた次の  
激甚災害が発生した。障害のある被災者のために組  
織としてできること、すべきことは何かを探るため現  
地調査が重要と考え、まずは個人の集団として実施  
した。メモ程度になるが緊急報告する。

日時：2016年4月24(日) 9時久留米出発、  
同日18時40分頃帰着

訪問場所と対応者：

(1) (社福) 愛隣園 障害者支援施設 愛隣館

(熊本県山鹿市都留2022：図1のA点)

館長 三浦貴子様

(全国身体障害者施設協議会 常任協議員

熊本県身体障害児者施設協議会会長 他)

サービス管理責任者 辻 啓司様

(熊本障がい者スポーツ指導者協議会会長)

(2) 熊本総合医療リハビリテーション学院

(熊本市東区小山2-25-35：図1・図2のB点)

専任講師 笹川友彦様

(日本リハビリテーション工学協会義肢装具  
SIGメンバー)



図1 熊本県北部(県町村会ウェブより)



図2 熊本市東区および益城町(Google マップに加工)

- (3) 益城町総合体育館（大規模避難所）  
 （熊本県上益城郡益城町木山236:図2のC点）  
 特定の応対者なし  
 （障害者対応責任者が不在であった）

## 2. 熊本調査内容

### (1) 愛隣館

三浦氏は自らも熊本市中央区の自宅（マンション10階）で被災されながら、職場である愛隣館でいち早く支援体制を整え、各地へ支援物資を送るだけでなく、西原町の要介護高齢者をグループ（10余名）で受け入れるなど積極的に活動されている。お忙しい中、当初予定した30分をはるかに超え1時間15分ほど対応していただいた。お話の中から、また施設見学によりわかったのは次のようなこと

- ・ 社会福祉の複合的施設であり、広大な敷地に各種施設が建ち、日常的に450名以上の利用者にサービスを提供している
- ・ 法人理事長が「困っている人は受け入れなさい」と指示している
- ・ 基本的な物資は全身協や地域ネットワークを通じて十分確保できている
- ・ 倉庫に余裕がある
- ・ 人的応援も関連施設から比較的多く得ている
- ・ 避難者にとって、野菜など生鮮食品はニーズが高い
- ・ 三浦氏は「熊本地震における支援物資等の状況報告について」を7号（4/28付）まで発行し、厚労省障害福祉課・全社協・全身協・県内関連団体に発信している
- ・ 同報告掲載の通り、愛隣館に物資を集積し県内各地の避難所や一時避難場所となっている施設へ配送している
- ・ 熊本障害フォーラム（KDF：JDF日本障害フォーラムの熊本版）とも連携、弁護士で熊本学園大教授の東俊裕氏らが呼びかけ「被災地障害支援センターくまもと」が立ち上がり（4/20付）、在宅障害者ニーズの拾い出しも始まりそう
- ・ 生活介護事業所である愛隣倶楽部において、急遽レンタルベッド8台を導入、被災障害者および家族の受け入れ準備済み。さらに増える場合にベッド等の供給を受けられればありがたいと三浦

氏は考えている。

なお、神戸市内の障害者支援施設からのいち早い食糧支援や仙台の「ありのまま舎」の助言・励ましへの謝意を表されていた。

帰り際に昼食を勧められ固辞したものの、同園作業所で休業せず作り続けている焼きたてパンや缶飲料を手渡され、（当方吉田からの手土産（紙パック茶およびカロリーメイト）は最初に受け取っていただいたが、恐縮するとともに、）山鹿のインフラ状態や愛隣館の運営状況が良く、熊本市内まで一時間以内で行け支援拠点として理想的であると感じられた。

### (2) 熊本総合医療リハビリテーション学院

（14時合流）

笹川氏もご家族とともに車中泊を余儀なくされる程の被災をしながら、学院の再開に備えている。学院の建物のうち、新館の内部を案内。内壁塗装の剥離、ガラス陳列棚の破損、職員室の東西方向を主とする揺れ方などを実地に説明下さった。一週間でよく片付けられた印象。ただし、旧館の方は天井パネルや階段の落下などもあり建設業者による補修が続いているとのこと。

同僚のK氏（日本義肢装具士協会のJRAT窓口ご担当）については、ご自宅が南阿蘇だが報道されている被害地域とはブロックが異なり家もご家族とも無事、ただし出勤はすぐにできない模様とのことであった。

### (3) 総合体育館への移動

笹川氏はそのような中、最も被害が甚大な益城町中心部へ道案内下さった。熊本市東区とは隣接しており移動時間は車で15分程度だが、町役場周辺は渋滞が発生していた。町の役場や社協には炊き出し以外に人は見当たらず、避難者が多数いると思われる総合体育館へ徒歩で移動。車椅子での移動は無謀であるため、岩崎のみ迂回して同目的地近傍へ。徒歩組は途中、文化会館の敷地を通った。遠景では無傷のように見えたが、周囲の土地の変形、法面の崩落にとまう入り口室の損壊などで使用できない状態であった。その南側の民家や生活道路も激しい倒壊状態のまま手つかずの状態であった。

### (4) 総合体育館

大規模避難所としてマスコミも多数来所しているところ。避難所内の機能区分がようやく始まっている

様子で、坂茂氏のグループが紙管とシートによる診療スペースを構築している最中であった。障害が顕著な方は見当たらず、どのように過ごされているか全く不明。手すきの薬剤師さんに尋ねるが担当者不在とのこと。

避難所内に売店があり、すぐ近くにコンビニエンスストア（セブンイレブン）がある。コンビニには通常と同程度の商品があった。

### 3. 大分県の（別府市）調査内容

大規模災害の場合、どうしても被害が大きい方向きがちである。2011年3月11日に発生した東日本大震災では、東北から関東にかけて大きな被害を受けた。しかし、地震被害の場合、誘発地震範囲が、数百キロ単位になることもある。翌日12日午前3時59分に東日本大震災の遠方誘発地震として長野県北部を震源とする震度6強に見舞われた、長野県下水内郡栄村はその典型である。栄村は「忘れられた被災地」とも称されている。

今回、熊本と大分で同時期的に地震が発生したにもかかわらず、かつ、大分県別府市でボランティアや支援物資が少ないと報道されていた理由はどのようなものかを4月26日（火曜日）に実地調査した。結論からいえば、震度に比例しない家屋被害の少なさに起因すると考えられる。

別府市生活環境部長様ならびに別府市社会福祉協議会常務理事様からのヒアリング並びに、両者の同行のもと、自主避難所を見学させていただいた（写真1）。



写真1 別府の避難所状況（段ボールもありました）

結果は別府市では、建物倒壊はなく、またライフラインも一部を除き、被害は軽微であった。買い物も近くのスーパーで済ませることができた。

避難所は、避難指示や避難勧告などではなく、あくまで、「自主避難」であり、炊き出しなどは行われていない。あくまでも、夜間の余震に備えたもので、避難所の日中の人口は少ない。別府市から提供された資料（3時間毎の計測）では、23日19時から26日7時までの避難者数の推移は、毎日13時を最低とし、21時を最高としている。障害者の方々への支援は、基本的に別府太陽の家やリハセンターなどのネットワークによるものが活着しているようであり、物理的な要望は若干の後片付けの依頼はあったが、ほぼないと言える状態である。ただし、余震も多くあり、障害者の精神的な支え（不安解消）が必要であるが、災害ボランティアセンターは開設せず、通常のボランティアセンターで対応しているとのことであった。

### 4. 発生から2週間後の被害状況

4月14日21:26頃にM6.5・最大震度7を観測する地震が発生した後、16日01:25頃には一連の地震活動で最大の規模となるM7.3・最大震度7の地震が発生した。これらの地震の影響で、揺れの強かった熊本県、大分県などを中心に九州地方の広い範囲で死傷者や家屋の倒壊、火災、土砂災害などの被害が多数確認された。気象庁は、本地震を「平成28年熊本地震」と名付けた。また、今回の地震を「特定非常災害」に指定することを28日に政府は閣議決定し、様々な特別措置が被災者に講じられることになった。「特定非常災害」の指定は、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災に続き4例目となる。

発生から2週間経過した4月28日時点での状況としては、震度1以上の余震数1000回以上。被害状況は以下の通り。死者49名、行方不明者1名。震災関連死者（エコノミークラス症候群など）16名。負傷者は、熊本県1489名、大分県26名、福岡県18名、佐賀県13名、宮崎県8名。被害を受けた家屋12130棟（全壊2102棟、半壊2297棟、一部損壊7731棟）で、今後更に増加する傾向。避難所数492箇所、約36800人以上が避難。

5. 被害状況 (写真 2～9)



写真 2 愛隣館の玄関に掲げられた対策本部看板



写真 6 愛隣倶楽部の内部 (特殊浴室)



写真 3 受け入れ被災者の居住スペース (左手奥)



写真 7 益城町役場駐車場に掲示板



写真 4 生活介護事所「愛隣倶楽部」  
(愛隣館より約 150m)



写真 8 益城町文化会館周辺の状況



写真 5 愛隣倶楽部の内部  
(レンタルで確保されたベッドと衝立、全 8 組の一部)



写真 9 益城町総合体育館の敷地入口